

第5回ディスカッション

テーマ2 将来の企業成長を照らした場合、業績不振からの回復のためにリストラチャリングによる人員整理をすることに賛成か反対か

A案：メリットが大きいため賛成

メリット① 企業収支の改善

企業がコストの削減を検討する際には、売り上げに関係なく一定の金額が発生する固定費の削減を優先するべきである。この点固定費の中でも大きな割合を占める人件費を削減するために人員整理を行うことで、従業員に対して支払う給与やその他交通費やオフィス代などの従業員数に関連して発生するコストを抑えることができ、企業全体の利益率の改善が見込める。

メリット② 資金調達がしやすくなる

人員整理によりコストを削減することで企業のさまざまな財務指標に改善がみられ、これまでよりも良い条件で金融機関からの融資受けられる可能性が高くなる。また、この要素は投資家にとっても魅力的なものであり、株主からの資金調達や株価の上昇を期待することができる。

これによりキャッシュフローを改善することができれば、将来の企業成長にもつながっていくと考えられる。

メリット③ 収益性の向上と持続的な成長の両立

短期的な利益率を改善してもその効果は一時的なものにすぎず、会社の経営がうまくいっていない根本的な原因を追究し改善しないことには、短期的なコストを削減できたとしても再び成長に悩むことになる。

この点リストラチャリングによる人員整理は、短期的な指標の改善のみならず、将来の企業成長にもつながる手法であると考えられる。業績不振の企業であれば、中には不採算事業がある可能性が高く、このような不採算事業から撤退し人員整理をすることで、収益が見込める主力事業や強化すべき領域に資金や人材などの経営資源を集中して投下することができ、より効率の良い経営が行えるようになる。このように、収益性の向上と持続的な成長を両立できる点も大きなメリットといえる。